

Cantar のバージョンが、V1.7 番台から V1.8 番台になりました。V1.73 かそれ以前のバージョンから V1.87 にアップグレードすることができます。

Cantar V1.87バージョンとそれに伴う改良点

- 連続した LTC-in で REC が始まり、ビデオカメラや AATON GMT-U (超小型軽量 SMPTE ジェネレーター、ビデオカメラに取付け可) からの LTC が止まると REC が Stop します。
(REC RUN での TC のオーバーラップや、TC のドロップアウトでの REC の中断はありません。)
- キーボード、CantaRem、Arcan-W から【STOP】【TEST】【PPR】【REC】をリモートコントロールできます。
- CantaRem のスライダーで、Line-out と Foldback のレベルをコントロールできます。
- 新しい ALE/PDF のページは、アイテムが変わった時にそれぞれのヘッダー上に開かれます。
- PDF Sound-Report 内に、空欄が割り当てられました。
- CantaRem は【FORCED】モードだけで Cantar を【STOP】ポジションにすることが出来ます。
- V1.85 以前までは、アーカイブタグは Cantar に同じファイルを 2 度コピーさせないため "idle copy" の時、音が出ました。"backup at call" の時、アーカイブタグに音を出させるため、その日の仕事始めにメニューから "File type = unarchived" を選択します。これにより既にアーカイブされたファイルを表示すること無しに、その日の終わりに 2 度目のバックアップを "call" することができます。V1.87 ではアーカイブタグはどの場合でも音が出ますので、バックアップの際、ただ "File type" を選択するだけとなります。
- 上記 7 により、"File type = unarchived" を "call" することで、V1.85 以前では CD と DVD にしかできなかったバックアップが DVD-RAM でもできるようになりました。
- Idle Backup は、スロー外部ハードディスク (メモリーリークが確定された) に対しては、バスハングの傾向はほとんどありません。
- カンターレムの【TEST】【PPR】【REC】コマンドによって引き起こされたソロのバグは改善されました。
- 16 ビットの大きい整理されたファイルでオーバーフローは改善されました。
- Sound-Report の CSV ファイルは、DVD-Ram の IdleCopy PDF 生成をスピードアップします。

Cantar V1.78バージョンとそれに伴う改良点 (2007-05-25)

V1.73 かそれ以前のバージョンから V1.78 にアップグレードすることができます。

- Sound-Report : スプレッドシートについては、タブの範囲をきめたエクセルテキストファイルと同様に PDF ファイルもプリントできるようになりました。
 - マイク/ラインフェーダーとミックスダウンスライダーのロック/アンロックは、1 秒間で保護されます。
 - In-Put ルーティングは、各トラックの XML チャンクの【ROUTING】フィールドに保存されます。
 - AES-out の 1 から 6 は、Track 1 から Track 6 か、または Mic1 から Mic 5 と Line1 シグナルに送られます。
 - FAT32 フォーマットは、1 20GB (HDD) から 2GB [Flash card] まで行うことができます。
 - Mixdown slider のゲイン/ポジションのスケールの傾斜は、より急になっています。
 - メインセクターが【PLAY】に行く時、無効化されているトラックはそのまま無効です。
【Routing】ポジションを迅速に通り過ぎることで、それらのトラックは再び有効化されます。
1. Arcan-w バージョン 2.09 が使用できます。